

**【概要報告】2022年度 第4回理事会(定例)**

- 日 時：2022年11月29日(火) 午後6時から午後8時まで
- 会 場：名古屋プレミアホール 403AB 会議室
- 出席者：大塚、横井、小縣、近藤、河村、岡田、大下、新家、若松、大家、渡邊、後藤<sup>春</sup>、家子、戸川、高垣、石川、大津、中西、守屋、縄田、石原、杉浦、後藤<sup>圭</sup>、桑村、脇坂、西川、奥村、鬼頭  
以上 28 名
- 委任状：廣田、神谷、柴田 以 3 名
- 欠 席：－
- 陪席者：事務局員【竹島、岡本、今井】

司 会：小縣専務理事

**表彰披露**

第 77 回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体) バレーボール競技少年男子 第 2 位

監督 北川祐介(愛工大名電高)

選手 瀧澤舜斗(愛工大名電高)、藤井千丸(〃)、笹本穂(〃)、石原圭吾(〃)、丹羽優斗(〃)、鈴木奏(〃)、平松陸哉(大同高)、渡邊大和(〃)、座禮楓人(〃)、東怜佑(星城高)、伊藤蒼眞(〃)、細川晃介(〃)

スタッフ 竹内裕幸(星城高)、渡辺義幸(大同高)

高垣強化委員長が北川氏の代理で披露された。

**1 開 会【小縣専務理事】**
**2 挨拶【大塚会長】**

御多忙のなかの御出席に感謝申し上げます。第 75 回全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県代表決定戦に役員として参加させていただき、皆様の御尽力で無事盛況に終えたことに感謝申し上げます。コロナ禍により若年層の活動に、今なお制限がある状況である。今後の子どもたちのスポーツ活動を考慮し、愛知県が全国の参考モデルとなるよう取組みたい。来年度に向けて慎重な御審議と会の進行に御協力をお願いする。

議 長：近藤副理事長

議事録：事務局【竹島、岡本】

**3 審議事項**
**(1) 公益財団法人愛知県スポーツ協会表彰【大下事務局長】**

事務局/指導普及委員会/財務検討委員会資料 P 1

ア スポーツ功労賞 2 名及びスポーツ栄光賞 16 名を推薦する。

イ スポーツ功労賞推薦者紹介

(ア) 安藤暢洋氏(名古屋支部) 功労年数 25 年

愛知県バレーボール協会理事、常任理事、名古屋支部委員として 25 年間協会発展に多大な貢献をした。強化委員長として、国民体育大会で 7 種別優勝、2 種別準優勝、二大会で男女総合成績第 1 位に導いた。一貫指導プロジェクト会議で指導普及委員会と連携しジュニアから高校生までの育成強化に尽力し、全国都道府県対抗中学バレーボール大会(JOCジュニアオリンピックカップ)準優勝及び第 3 位の結果を残した。また、愛知県から全日本中学選抜チームや高校日本代表、U19 日本代表、U21 日本代表に選手が選出されバレー王国愛知を全国にアピールした。愛知県高等学校体育連盟名古屋支部副委員長として愛知県バレーボール協会との連携や改革に携り、高体連バレーボール専門部の充実及び発展に尽力した。高校指導者として 7 年連続マドンナカップビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会出場へチームを導き、優勝 2 回、準優勝 3 回、3 位 2 回の結果で愛知県ビーチバレーボールのレベルアップを図った。また、審判員や医事部長として愛知県開催の国際大会運営に貢献した。以上の功績からスポーツ功労賞表彰者として推薦する。

(イ) 佐々暁則氏(尾張支部) 功労年数 14 年

長年にわたり理事又は委員として大会運営や尾張支部運営に多大な貢献をされた。また、地域のクラブチーム運営に 31 年間携わるとともにスポーツ指導員としてもスポーツ少年団及び中学校バレーボール部で指導普及に努めている。以上の功績からスポーツ功労賞表彰者として推薦する。

【これについて諮り承認】

(2) 2022 年度愛知県 U-14 クラブチャンピオンシップバレーボール大会 (AGU カップ) について 【石川指導普及委員長】  
事務局/指導普及委員会/財務検討委員会資料 P 2 ~ P 3

ア 大会名称について

大会会場の愛知学院大学スポーツセンターを利用しやすくするため大会名称に「AGU カップ」を追加した。

イ 大会日程について

選抜チーム出場の観点から女子大会第 2 日目の日程を変更した。

【これについて諮り承認】

#### 4 報告事項

(1) 専務理事 【小縣専務理事】

別紙

ア Volleyball Week in AICHI

事業部から報告する。

イ 第 41 回愛知県中学生バレーボール新人大会、第 75 回全日本バレーボール高等学校選手権大会  
テレビ動画配信アプリ Locipo で配信、9000 件のアクセスがあった。愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技の配信も検討中である。

ウ 第 75 回全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県代表決定戦

(ア) 昨年度は、総客席数の 50% を入場観戦としたが、今年度は 100% の入場観戦とした。

(イ) 決定戦 3 日前にチケット完売し、決定戦は収益が予想される。ただし、準決勝までは損益予想である。

(ウ) 有観客開催は全国で 4 から 5 県程度、有料開催は本県のみである。

(エ) フジテレビ、スポーツブル、YouTuber の BeeQuick が来場し取材があった。

エ FIVB バレーボールネーションズリーグ 2023

(ア) 契約及び座席等準備を進めている。

(イ) 運営組織が刷新されている。

オ その他

(ア) 12 月 24 日(土)及び 25 日(日)に 2022-23V. LEAGUE DIVISION1 ALL STAR GAMES をエントリオで開催する。

(イ) 2022-23V. LEAGUE DIVISION1 から DIVISION3 を開催中である。

カ 専務理事勤務状況

別紙にて報告

(2) 財務検討委員会

ア 第 5 回概要報告 【岡田委員長】 事務局/指導普及委員会/財務検討委員会資料 P 4 ~ P 5

(ア) 参加費の見直し

参加費改定により、大会運営費補填額は減少となった。ただしコロナ禍により参加チーム数が流動的のため、現状の大会運営から参加費の考察は困難であるとの認識である。継続的な課題とする。

(イ) 付帯作業費の検討 ヒアリングを検討している。

イ 会計マニュアル第三版について 【大下事務局長】

事務局/指導普及委員会/財務検討委員会資料 P 6

大会運営費概算請求申請又は激励金交付申請を支出金依頼書又は携帯端末等から電子フォームで申請するかを検討している。運営に携わる方々の負担軽減のため、公認会計士と相談し DX 化を

図っていききたい。次回理事会で第三版を報告する。

(3) 事務局【大下事務局長】

- ア 第3回理事会概要報告 事務局/指導普及委員会/財務検討委員会資料 P7～P11  
資料で報告する。
- イ 2023年度一般社団法人愛知県バレーボール協会正会員団体(チーム)登録等について  
事務局/指導普及委員会/財務検討委員会資料 P12～P14
  - (ア) 会員登録を3月31日までに完了した団体で申請があれば4月以降の領収書を本会から発行する。
  - (イ) 2023年度登録日程を資料で説明する。
  - (ウ) 団体会員及び個人会員に関する推移と分析を専務理事小縣氏、事務局担当藤森氏、事務局長大下で行った。団体会員数は、もどりつつあるが緩やかな減少傾向である。個人会員数は、増加しているカテゴリーもある。
  - (エ) 小縣専務理事から以下の意見があった。  
登録費は、約1200万円で本会収入の3分の1であり、登録数の推移は重要なデータである。愛好者である実業団やクラブでの登録数が減少しており、リーグ戦の棄権もあり回復傾向にないと感じる。また、大会参加以外の観点から本会への登録を理解していただくか検討が必要である。この課題は、年会費改定に関係する。
  - (オ) 実業団専門部、クラブ専門部、ソフトバレー専門部から会員数の減少は、コロナ禍によるものであると報告があった。
  - (カ) クラブ専門部からSNSを利用して自主的に大会を開催している。自由度が高いため好評である。この例を参考にしながら魅力ある協会となることが肝要である。
  - (キ) 高校と中学校の会員数変化の差異は、コロナ禍による大会開催有無が影響していると考えられる。
- ウ 役員改選にともなう2023・24年期支部長、委員長、専門部長、会計の推薦者報告について  
事務局/指導普及委員会/財務検討委員会資料 P15
  - (ア) 支部長、委員長、専門部長の推薦及び会計は事務局からの推薦である。12月9日までにフォームにて報告をお願いします。役員選出委員会①を会長、副会長、専務理事で開催をする。役員改選日程を後日送付する。
- エ 予算、決算、監査ほか日程について  
事務局/指導普及委員会/財務検討委員会資料 P16～17  
日程を確認し、準備をお願いします。

(4) 事業部【新家事業部長】

- Volleyball Week in AICHI について 別冊資料
- ア CBC テレビ情報番組「チャント！」の映像を視聴する。
- イ チケット販売数、入場者数、メディア及びSNS展開から非常に盛況であった。イベント規模拡大を考慮すると、運営方針、日程、広告宣伝、収支等継続課題があると資料で説明する。
- ウ 大塚会長から以下の報告があった。
  - (ア) 2026年アジア競技大会への機運を高めるための新規事業である。
  - (イ) V.LEAGUE各チームの御厚意で成立しているが、一部チームから負担との意見もある。
  - (ウ) 事業部で課題等を整理し次回理事会までに次年度骨子を検討していただきたい。
  - (エ) 御意見又は御要望があれば伺いたい。
- エ 小縣専務理事から以下の報告があった。
  - (ア) 本会理念から新規事業として開催した。
  - (イ) 本会単独で事業成立しないが、注目されている事業である。
  - (ウ) 告知方法や体制及び予算化等を課題と考えている

(5) 支部

- ア 名古屋支部【若松支部長】  
特になし

- イ 尾張支部【大家支部長】  
特になし
- ウ 西三河支部【\*委任状 神谷支部長】
- エ 東三河支部【渡邊<sub>裕</sub>支部長】  
特になし
- (6) 委員会
  - ア 競技委員会【家子委員長】
    - (ア) 2023 年度競技日程  
2月中旬までに競技日程を作成する。
    - (イ) 2023 年度東海9人制バレーボール選手権大会及び全日本9人制バレーボール総合男女選手権大会運営
      - a 開催日程 8チーム参加で1日開催、9チーム以上参加で2日間開催と考えている。
      - b 会場 会場キャンセルを回避するため、大会第2日会場は3コート設営できる体育館を確保する。
      - c 参加費 2022年度と同様と考えている。
  - イ 審判委員会【戸川委員長】
    - (ア) 認定大会の参加状況及び資格認定状況
      - a 6月から9月下旬に37名参加で実施した。
      - b C級17名及びB級5名が、資格認定予定である。
    - (イ) ラインジャッジ研修会  
10月15日(土)に開催した。
    - (ウ) 東海地区聾学校バレーボール大会  
岡崎市体育館で8名の審判員とママさん連盟西三河支部の協力で運営した。
    - (エ) 令和4年度名誉審判員推薦について  
該当者なしで報告する。
  - ウ 強化委員会【高垣委員長】  
第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)結果報告  
少年男子は第2位、少年女子は1回戦敗退であった。
  - エ 指導普及委員会【石川委員長】
    - (ア) あいちトップアスリートアカデミーについて
      - a 期日 10月8日、29日、11月5日
      - b 会場 碧南緑地ビーチコート
    - (イ) 指導者養成講習会
      - a 期日 12月4日、11日
      - b 会場 大同大学 \*愛知学院大学スポーツセンターから変更
    - (ウ) 愛知県U-14クラブチャンピオンシップバレーボール大会(AGUカップ)参加チーム数
      - a 男子23チーム ヤングクラブ連盟 9チーム、選抜チーム14チーム
      - b 女子24チーム ヤングクラブ連盟 8チーム、選抜チーム16チーム
      - c 大会第1日は無観客、大会第2日は保護者のみ観戦可とする。
  - オ 広報委員会【大津委員長】  
特になし
- (7) 専門部
  - ア 実業団専門部【中西部長】
    - (ア) 第39回愛知県実業団9人制バレーボール男女秋季リーグ
      - a 11月13日に終了した。
      - b 上位リーグで参加チーム数が減少している。
      - c 下位リーグは上位リーグよりも参加チーム数が減少している。
      - d 参加数減少により参加費での大会運営が実施できなかった。

- (イ) 第 41 回愛知県実業団 6 人制バレーボール男女秋季リーグ  
男子は 4 チーム、女子はクラブバレーボール連盟所属のビオーレ名古屋を招待し交流戦として開催した。
- (ウ) 第 52 回愛知県 9 人制バレーボール実業団男女選手権大会  
男子 6 チーム、女子 2 チーム参加で開催した。
- (エ) 第 13 回全国 6 人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会東海ブロック地域リーグ  
男子 4 チーム、女子 2 チーム参加で開催した。
- イ クラブ専門部【守屋部長】
  - (ア) 一部日程を工夫しながら、11 月 20 日で 6 人制及び 9 人制リーグ及び入替戦を終了した。
  - (イ) 12 月 11 日に第 19 回東海 6・9 人制バレーボールクラブ男女選手権大会が岐阜県関市で開催される。
- ウ 大学専門部【縄田部長】
  - (ア) 第 24 回愛知県大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会  
12 月 3 日及び 4 日に男子 3 部を開催する。
  - (イ) 第 75 回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男女選手権大会ミキプルーンスーパーカレッジバレー 2022
    - a 東海大学バレーボール連盟男子上位 9 チーム、女子上位 4 チームが参加
    - b 男子 5 チーム(名城大学、大同大学、愛知学院大学、至学館大学、中京大学)、女子 2 チーム(至学館大学、中京大学)が上位 32 チーム、2 回戦進出である。
- エ 高校専門部【石原部長】
  - (ア) 第 75 回全日本バレーボール高等学校選手権大会が終了した。
  - (イ) 愛知県代表として男子愛知工業大学名電高等学校、女子豊川高等学校が出場する。
  - (ウ) 代表決定戦では、セット間の各校パフォーマンスを再開するなど盛大な大会となり関係各位へ感謝申し上げる。
- オ 中学校専門部【杉浦部長】
  - (ア) 第 41 回愛知県中学生バレーボール新人大会が無事終了した。
  - (イ) ジュニア継続強化練習会を 12 月に開催予定である。
- カ 小学生専門部【後藤<sub>主</sub>部長】  
特になし
- キ ヤングクラブ専門部【桑村部長】
  - (ア) 2023 年度の第 77 回愛知県中学校総合体育大会や第 42 回愛知県中学生バレーボール新人大会へのヤングクラブバレーボール連盟所属チームの参加について情報を共有し、連盟所属チームへ伝達したい。
  - (イ) 小縣専務理事から以下の意見があった  
ヤングクラブ連盟所属チームの参加は、主催者により参加条件などが異なる。愛知県中小学校体育連盟主催の第 77 回愛知県中学校総合体育大会は、本会は関与できない。第 42 回愛知県中学生バレーボール新人大会は本会主催のため参加条件を整理していきたい。
  - (ウ) 大塚会長から以下の意見があった。  
平成 30 年度からスポーツ庁は提案しており、大会ごとに主催者が考慮するようだ。大会運営方針をなるべく早く整理し、情報を共有することができるように対応を考えていきたい。
  - (エ) 杉浦中学校専門部長から愛知県中小学校体育連盟から情報提供されていないと報告があった。
- ク ソフト専門部【脇坂部長】  
11 月 20 日に秋季フェスティバルが終了した。
- ケ ビーチ専門部【西川部長】
  - (ア) ジャパンビーチバレーボールツアー 2022 サテライト (BVT 2)
    - a 日時 10 月 1 日(土)～2 日(日)
    - b 会場 碧南緑地ビーチコート
    - c 参加チーム 24 チーム

d その他 碧南市のサポートにより運営できた。

(イ) ジャパンビーチバレーボールツアー2022 アンダーエイジ三愛オブリースリーズ(BVT3)

a 日時 11月19日(土)～20日(日)

b 会場 碧南緑地ビーチコート

c 参加チーム

(a) 第1日目 50チーム

(b) 第2日目 60チーム

d その他

(ウ) アンダーエイジチャンピオンシップ大会(BVT3)

a 日時 11月26日(土)～27日(日)

b 会場 樟南ベルマーレひらつかビーチパーク

c 結果

(a) 男子

水野新太郎(MAGS)第4位、塚元洸太(碧南工科高/碧南ホワイトサンズ)、  
庄司楓弥(碧南工科高)第9位、佐藤拓斗(愛知工業大学)第10位

(b) 女子

澁谷真央(西陵高)第11位

コ ママさん専門部【\*委任状 柴田部長】

ママさん専門部資料

資料にて報告とした。

## 5 次回理事会

(1) 日時 2023年2月17日(金) 午後6時から午後8時まで

(2) 会場 名古屋プレミアムホール 403AB 会議室

## 6 挨拶【横井副会長】

2022年内のウルフドッグス名古屋ホームゲームが終了し御礼を申し上げます。Volleyball Week in AICHIでは小学生対象にバレーボールクリニックを開催し、いろいろな世代をつなげることができた。11月23日の第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県代表決定戦ではチケット完売に対しV.LEAGUEの集客が課題と考えている。バレーボール競技人口は41万人であり、バレーボールファミリーのネットワーク構築が課題と認識している。それが本県バレーボール又は日本のバレーボール振興に繋がると信じている。本会登録数を議論及び分析し本会として推移を注視することが重要である。本会の取組でバレーボールファミリーを形成することができればと考える。本日の御審議ありがとうございました。